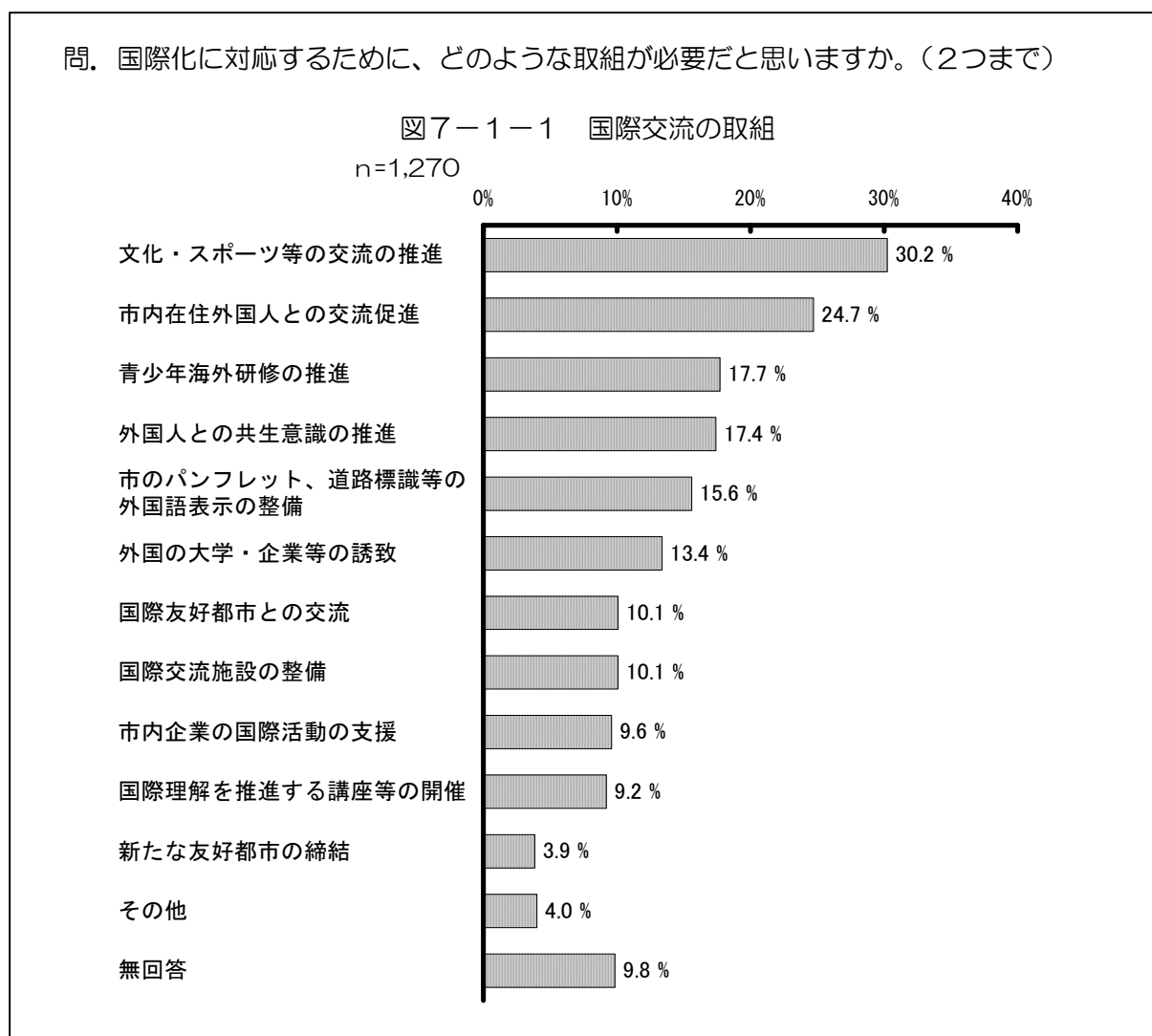


## 7 国際交流

### (1) 国際交流の取組（A：問 13）



#### 【全体】

国際交流の取組について聞いたところ、「文化・スポーツ等の交流の推進」（30.2%）が約3割と最も高くなっている。次いで、「市内在住外国人との交流促進」（24.7%）、「青少年海外研修の推進」（17.7%）、「外国人との共生意識の推進」（17.4%）となっている。

【経年変化】

経年変化は参考に記載するものとする。

表7-1-1 国際交流の取組—経年変化

(単位：%)	平成 25 年度 (n=1, 270)	平成 23 年度 (n= 815)	平成 21 年度 (n=1, 608)	平成 19 年度 (n=1, 500)	平成 17 年度 (n=1, 002)
文化・スポーツ等の交流の推進	30.2	38.5	44.1	40.1	44.3
市内在住外国人との交流促進	24.7	25.8	22.6	21.6	25.4
青少年海外研修の推進	17.7	16.3	15.3	14.7	17.4
外国人との共生意識の推進	17.4	11.9	13.2	14.7	-
市のパンフレット、道路標識等の 外国語表示の整備	15.6	11.4	12.3	13.7	14.9
外国の大学・企業等の誘致	13.4	11.4	9.1	7.5	11.9
国際友好都市との交流	10.1	12.6	15.0	11.0	13.5
国際交流施設の整備	10.1	9.9	10.6	9.0	11.8
国際理解を推進する講座等の開催	9.6	9.1	11.4	9.7	16.1
市内企業の国際活動の支援	9.2	7.4	7.2	4.5	6.3
新たな友好都市の締結	3.9	4.7	-	-	-
地域からの国際協力	-	6.6	6.0	5.5	8.0

(注) 平成 19 年度調査からは「外国人との共生意識の推進」が、さらに平成 23 年度調査からは「新たな友好都市の締結」を選択肢として追加しており、また、今回の調査では「地域からの国際協力」を選択肢から外している。

【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、「外国の大学・企業等の誘致」との回答では若い年代ほど高くなる傾向が見られ、29歳以下では2割以上の回答となっている。

表7-1-2 国際交流の取組—性別、年齢別

(単位：%)	文化・スポーツ等の交流の推進	青少年海外研修の推進	市内在住外国人との交流促進	新たな友好都市の締結	国際友好都市との交流	外国語表示の整備	市のパンフレット、道路標識等の講座等の開催	国際理解を推進する	外国の大学・企業等の誘致	国際交流施設の整備	外国人との共生意識の推進	市内企業の国際活動の支援	その他	無回答
全体 (n=1,270)	30.2	17.7	24.7	3.9	10.1	15.6	9.2	13.4	10.1	17.4	9.6	4.0	9.8	
男性 (n=556)	31.1	18.3	23.7	4.7	10.6	14.2	9.2	15.8	11.5	17.6	10.8	4.3	6.8	
女性 (n=685)	29.8	16.9	25.0	3.2	9.6	16.9	9.2	11.4	8.9	17.1	8.8	3.8	12.4	
20歳未満 (n=15)	40.0	26.7	33.3	6.7	0.0	26.7	0.0	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	
20～29歳 (n=100)	23.0	16.0	25.0	6.0	18.0	16.0	9.0	20.0	7.0	16.0	14.0	6.0	4.0	
30～39歳 (n=185)	28.1	15.7	20.0	4.3	8.6	18.9	7.0	18.4	10.8	17.3	10.8	7.0	4.9	
40～49歳 (n=191)	35.1	12.0	27.2	4.2	9.4	13.6	8.4	17.3	8.9	20.4	12.0	3.7	2.6	
50～59歳 (n=186)	30.6	14.5	31.2	3.8	9.1	20.4	8.1	11.3	9.7	17.7	8.1	5.9	7.5	
60～69歳 (n=310)	31.3	20.3	25.5	3.2	9.7	13.2	11.9	11.3	11.9	18.1	8.7	1.6	12.9	
70～79歳 (n=190)	30.5	22.1	17.4	2.6	10.0	15.3	10.0	8.9	10.0	17.4	7.4	2.6	16.8	
80歳以上 (n=76)	25.0	19.7	22.4	5.3	10.5	10.5	7.9	5.3	10.5	7.9	9.2	5.3	26.3	